

中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	NP0法人 場とつながりの研究センター	代表者名	理事長 長谷川計二
事業名	<基本事業>地域の「つながる場」がまなびあうネットワークづくり支援事業 <企画立案事業>地域課題解決を目指す「未来思考の対話」の場づくり促進事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2016 年 4 月 ～2017 年 3 月	相談支援窓口開設 ※一般定期開設は、助成金決定通知後の 8 月以降
2016 年 7 月 11 日	NP0・市民活動のための「企画づくりセミナー」 ※学生対象
2016 年 7 月 23 日	会ってみよう！聞いてみよう！しゃべってみよう！ 認知症とともに生きるということ ～フューチャーセッション
2016 年 10 月 27 日	まちの居場所を見に行きませんか？ 第 1 回 新しいチャレンジが生まれる、人と場を守りたてるコツ
2016 年 11 月 14 日	まちの居場所を見に行きませんか？ 第 2 回 廃校に集まる地域の人財、過疎地域ならではの挑戦
2016 年 12 月 3 日	NP0・市民活動のための「企画づくりセミナー」 ※一般市民対象
2017 年 2 月 25 日	大学生が紡ぎ出す、「対話の場づくり」のコツ
2017 年 3 月 11 日	〃 振り返りセッション

<効果と成果>

場とつながりの研究センターは、「居場所」や「対話」といったキーワードで、参加者同士が学びあえる場づくりを模索しています。今年度は「フューチャーセッション」を切り口に、誰もが自分ごととして安心して参加でき、参加者の“履歴の違い”を活かした「未来志向の対話の場」のあり方を考えるために、静岡県で先駆的に取り組んでいる「静大フューチャーセンター」さんをゲストに招いた講演&実践を行いました。

まちづくりに「多様な参加」が求められていますが、その場は本当に「多様性」が担保されているのでしょうか。若者の意見、障害者など弱者の意見はきちんと受け止められているのでしょうか。参加者が評論家にならず、自分ごととして受け止め考えられる構成でしょうか。このような視点に立った場がさまざまな場所で展開されている静岡県での事例を参考にしながら、兵庫県でも展開する一歩目を踏み出すことができました。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費収入	21,500
自己資金	152,705
合 計	674,205

(支出)

区 分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象 金 額 (円)
直 接 経 費	人件費	382,000	300,000
	謝金	22,274	20,000
	消耗品費	36,480	10,000
	その他（通信運搬費等）	64,039	20,000
	小 計	504,793	350,000
間接経費（一般管理費）		169,412	150,000
合 計		674,205	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	380,000
参加費	23,400
自己資金	156,227
合 計	559,627

(支出)

区 分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象 金 額 (円)
直 接 経 費	謝金	124,096	120,000
	人件費	105,900	87,000
	旅費交通費	106,560	17,000
	その他（通信運搬費等）	53,658	42,000
	小 計	390,214	266,000
間接経費（一般管理費）		169,412	114,000
合 計		559,626	380,000